

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-1-10	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3・4・15号線)	所管部課 都市整備部都市計画課					
事務事業の概要	事務事業の目的 本路線は、現在事業中である西東京都市計画道路3・4・13号線及び西東京都市計画道路3・3・14号線とのネットワークを結ぶことで、西東京市北部地域の交通の円滑化を図り、保谷駅北口へ直接アクセスさせる重要な道路である。	総合計画上の位置づけ (政策)快適な日常生活のために (施策)道路・交通の整備(安1-2) (主要施策)都市計画道路の整備					
	実施内容、実施方法 本路線は、延長787m・面積13,331㎡の道路整備を予定しており、今年度は、道路工事として西3・4・13号線との交差点部約33mを施行予定。但し、舗装については後日、下水道管の撤去があるため、仮復旧としている。	根拠法令等 多摩地域における都市計画道路の第二次事業化計画					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 用地買収面積	活動指標の考え方(定義) 当該年度の用地買収面積(0㎡)					
	道路完成延長	当該年度の道路完成延長(33m)					
	成果指標名 路線全体の事業費による完成率	成果指標の考え方(定義) 過年度の事業費計と全体事業費の割合(%)					
	路線全体の完成延長による完成率	過年度の完成延長と計画延長の割合(%)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		849,024	152,927	151,244	359,422	
	国庫支出金	千円	219,500	10,000	0	84,000	
	都支出金		24,693	1,125	0	9,450	
	地方債						
	その他		900	1,166	889	540	
	一般財源		603,931	140,636	150,355	265,432	
	所要人員(B)	人	2.00	1.50	1.50	2.00	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,492	12,410	12,492	16,656	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	865,516	165,337	163,736	376,078	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(道路完成延長)	千円	9,616.84	2,850.63	4,961.70		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	㎡			0	499
		実績値	㎡	318	0	0	
活動指標	目標値	m			33	66	
	実績値	m	90	58	33		
成果指標	目標値	%			84	88	
	実績値	%	80	82	84		
成果指標	目標値	%			36	44	
	実績値	%	24	32	36		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	地元から早期整備の意見がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	当該道路に接続する路線として西東京都市計画道路3・3・14号線、放射7号線を東京都にて整備を進めている。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし					

コード 8-1-10	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3・4・15号線)	所管部課 都市整備部都市計画課
---------------	--------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	予定した事業を執行することができた。舗装については、後日、下水管の撤去があるため、仮復旧となっている。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	本路線は、西東京市北部地域の交通を安全にかつ快適に保谷駅北口まで導くための重要な道路であり、早期完成のためにもライフライン等関係企業との調整を行い、着実に工事を進める必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	電線共同溝を布設するため、参画企業との事前調整を行い、今後の道路工事の円滑化を図った。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	道路工事価格は、東京都の積算基準に基づき積算している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本路線の電線共同溝布設区間を延伸したため、当該年度の道路整備延長が伸びなかったが、さらなる防災性の向上、景観等に配慮した道路としての整備が可能となった。

17年度における改善点	新たな電線共同溝区間を整備するため、参画企業者との調整をしっかりと行い、スムーズな事務執行に勤める。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。